

令和7年度第2回庄原市初任者研修会

令和7年9月3日（水）

広島県立庄原特別支援学校、広島県立庄原実業高等学校、庄原市総合体育館

「庄原市における教育課題を踏まえ、新規採用教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養う」ことを目的に、研修会を行いました。

【参加者：小学校教諭5名、中学校教諭6名、養護教諭2名、栄養教諭1名、事務主任1名】

【異校種訪問】広島県立庄原特別支援学校（小学校教諭、養護教諭、栄養教諭） 広島県立庄原実業高等学校（中学校教諭）

庄原特別支援学校、庄原実業高等学校の概要説明、授業参観、施設見学を行った。

- 庄原特別支援学校では、授業参観から誰にでも分かりやすい授業づくり、環境づくりの工夫について、日常的に必要な支援や指導について学び交流した。
- 庄原実業高等学校では、授業参観や施設見学を通して、専門学科の学びや授業づくり、中学校卒業までに身に付けさせたい資質・能力について気付きを交流した。



（参加者の振り返りより）

- 庄原特別支援学校では、授業の中でうまくいってもいなくても肯定的な声掛けを積極的にされていた。個に応じた発問や支援、見通しのもたせ方、安心できる環境づくりについて自校でも実践していきたい。
- 庄原実業高等学校では、生徒自身が何が好きで、何をを目指しているかを自分の言葉で語っていた。高校生の姿から、中学生の間に生徒に身に付けさせたい力について再度認識することができた。



【講話】「児童・生徒と向き合う」

庄原市教育委員会 教育指導課長 高淵 直哉

教職員に期待される役割と本市が力を入れていることについて講話を行った。

- どのような教職員になりたいと思っているか、日々意識していること大切にしていることは何か、と常に自分を振り返ることで自身のステップアップにつなげてほしい。教職員として今求められていること、普遍的に求められていることを理解し行動していく必要がある。
- 庄原市が力を入れている5つの心がけ（挨拶、読書、履物、時間、背筋）について、まずは教職員が子供たちの身近な良きモデルとなることに期待する。そして、児童・生徒と誠実に向き合い続けることで、達成感や喜びややりがいを実感できる教職員となしてほしい。



（参加者の振り返りより）

- 広島県の教職員であると同時に、庄原の子供を育てる職員の一人である自覚をもち、子供たちと向き合っていきたい。
- 子供たちと向き合うことで達成感や喜び、やりがいを感じられるという実際のお話を聞かせていただき、自分もこれから辛抱強く子供達と向き合っていきたいと思った。

【講話】「服務について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係 管理主事 賀島 直弥

服務やそれに関わる法令法規について講話を行った。

- 服務とは、公務員が職務遂行上又は公務員としての身分に伴って守るべき義務ないし規律のことであり、教職員として十分理解をしておく必要がある。
- 安心、安全、信頼される学校にしていくために、不祥事根絶に向けて正しい認識を持ち続けること。

(参加者の振り返りより)

- 実際に事例演習も交えながら、教職員としての在り方を改めて確認する良い機会となった。不祥事を絶対に起こさないという意識を常に持って職務に専念していきたい。

【講話】「メンタルヘルスの基礎知識」

中国中央病院 心理療法士 田村 愛夕美 様

メンタルヘルス基礎知識について講話を行った。

- 学校で働く教職員の業務の特徴や感情に負荷がかかることなど、ストレスのメカニズムを理解することが大切である。後半は、初任者同士で交流を行い、自分自身を理解すること、頑張っている自分を認めること、助けを求めること大切さについて学んだ。

(参加者の振り返りより)

- 自分にとって何がストレス要因でどんなストレス反応が出てくるのか話をする中で自分自身が自覚をすることができた。自分に合ったコーピングを見つけていきたい。

【実践発表・協議】「授業づくりについて」

庄原市立庄原小学校 教諭 萩原 啓司
庄原市立西城中学校 教諭 青木 紗弥

【講話・演習】「日々の業務について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係 管理主事 賀島 直弥
主任主事 檜田 祐大

授業づくりについて実践発表・協議（小学校・中学校教諭）及び日々の業務について講話・演習（養護教諭・栄養教諭・事務主任）を行った。

- 「授業づくりについて」では、市内学校の経験3年目の先輩教員に実践発表をしていただき、自身の授業や子供との向き合い方について振り返った。その後、小学校教諭、中学校教諭それぞれに分かれグループごとに実践や教材研究につて交流をした。
- 「日々の業務について」では、各職種の役割やそれぞれ学校に1人しかいない職種であることの重要性について確認した。日々の業務上の課題について交流し、どうしたら解決につながるか考え交流した。

(参加者の振り返りより)

- 1年目、2年目、3年目と自身の実践や思いを伝えてくださり、これからの自分の教員生活のイメージをもつことができた。アイメッセージや子供が「面白い!」と思えるポイントを自分の授業に取り入れていきたい。
- 日々の業務について、法令等を確認することができ、多様な業務に関わって連携しながら行っていくことや先生方へ情報を発信したり、子供たちと積極的にコミュニケーションをとったりすることを2学期は頑張っていきたい。

